

かきくけ航海日誌

滋賀県立びわ湖フローティングスクール
〒520-0047 大津市浜大津5丁目1番7号
<http://www.uminoko.jp/>



平成二十七年出航式

「みずうみに学んで 世界の明日をみる」 「かきくけ航海」を生み出そう！

合言葉 か・・・考える き・・・気づく く・・・工夫する
け・・・継続する こ・・・行動する

「3つの **あ**から 5つの **あ**」へ

【所長 新庄 正幸】



4月22日、「うみのこ」が子どもたちと夢と希望を乗せ、今年度の航海がスタートしました。(写真)

「うみのこ」の船内生活では、3つの**あ**(安全、挨拶、後始末)を守り、やり切ることを実践目標としています。安全に気をつけることは、たくさんあります。船内では上靴をしっかりと履き、走ったり暴れたりしません。身を乗り出したり、柵に足を入れたりしません。

挨拶は友情を深めるきっかけにもでき、自分から進んでの気持ちのよい挨拶を薦めます。乗下船時や寄港地活動時に挨拶をするチャンスはいくらでもあります。

そして、後始末も大事です。限られた水は大切にしなければなりませんし、部屋の入口で脱いだ上靴やトイレのスリッパはきちんとそろえます。気持ちよく後始末をすると、次の活動へ余裕を持って移動できます。

さらに、4つ目の**あ**は、「あかんことはあかん」です。命に関わる船上での生活です。守らなければならないルールがいっぱいあります。集団生活において、わがままや迷惑をかけることがあってはいけません。

5つ目の**あ**「ありがとう」は、自然と口をついて出てくれたら嬉しいです。「うみのこ」での2日間の30時間の経験や体験を通して、一回りも二回りも大きくなって下船していく子どもたちに出会えることを、楽しみにしています。フローティングスクールでは、5つの**あ**を大事にしたいと考えております。

最後になりましたが、私、県立びわ湖フローティングスクール所長2年目にあたり、微力ではありますが、引き続き、一意専心努力する覚悟でおります。今までと同様、滋賀県にお住まいの皆様、教育関係者の皆様のご協力・お力添えをいただきますようよろしくお願いいたします。平成27年度当初にあたってのごあいさつとさせていただきます。

かきくけコーナー

昨年度の航海のいくつかは、台風接近による延期航海や強風による航路変更を余儀なくされました。琵琶湖の気象は、滋賀県の地勢と大きく関係します。滋賀県は周囲を野坂山地、比良山地、鈴鹿山脈、伊吹山地と1000m前後の山々に囲まれる盆地となっています。その中央部に滋賀県の面積の1/6を占める琵琶湖があります。

また、滋賀県は本州の最狭部となっており、伊勢湾から南東の風、大阪湾から南西の風、若狭湾から北西の風が吹き込む風の三叉路となっています。この地形による風が滋賀県の天気に影響を与えています。子どもたちは、「甲板に出るとすごい風で、風の当たり心地が全然ちがった。」とか「1日でびわ湖の風がまるまる正反対になる。」と気づきます。素晴らしい感性です。